



## ユネスコ創造都市ネットワークへの加盟について

鶴岡市では、世界に誇るべき特色を持った鶴岡食文化を地域振興に活かすため、広範囲にわたる食文化創造都市推進事業の実施に取り組む一方で、ユネスコ（国際連合教育科学文化機関）の「創造都市ネットワーク」食文化分野での加盟を目指した活動を進めてきたところですが、このたびユネスコによりネットワークへの加盟が認定されました。食文化分野での加盟は日本で初めてとなります。

今後は、ユネスコが認める世界の食文化創造都市として、鶴岡の食文化をもとにした世界交流や、地域活性化のための施策を一層強力に推進していくこととしています。

1. 加盟認定年月日 平成26年12月1日（月）

2. 分野 食文化（Gastronomy）

### 3. ユネスコ創造都市ネットワークについて

ユネスコが平成16年に創設。創造的・文化的な産業の育成、強化によって都市の活性化を目指す世界の都市が、国際的な連携と相互交流を行うことを支援する枠組み。加盟する都市は文学・映画・音楽・クラフト&フォークアート・デザイン・メディアアート・食文化の7分野から1つを選択。

### 4. 加盟の意義

ユネスコが認める世界の食文化創造都市として、ネットワークを通じた国内外の創造都市との交流を行うとともに鶴岡食文化を世界に向けて強力に情報発信することにより、交流人口の増加や各種の文化・産業活動の活性化に向けた施策をより積極的に展開することが可能となります。

### 5. これまでの経過

|       |     |   |
|-------|-----|---|
| 平成22年 |     | ネットワーク加盟に向けた調査研究事業の実施                                 |
| 平成23年 | 7月  | 鶴岡食文化創造都市推進協議会の設立（ネットワークへの申請主体、及び食文化創造都市推進事業の実施主体として） |
|       | 10月 | ユネスコ本部訪問、パリ日本文化会館等における食文化事業の実施                        |

|       |       |  |
|-------|-------|--|
|       | 11月   | ネットワーク年次総会（韓国・ソウル市）へ候補都市として市長が出席、食文化の魅力と将来ビジョンをアピールする演説を実施 |
|       | 12月   | ユネスコの財政事情による加盟申請手続の中断                                      |
| 平成24年 | 4月    | 平成23年度文化庁長官表彰（文化芸術創造都市部門）の受賞                               |
|       | 8月    | ユネスコへ加盟申請手続及び審査の再開に向けた要望書を提出（当時の候補都市4市長の連名）                |
| 平成25年 | 2月    | ユネスコ本部訪問、申請書の提出  |
|       | 7月    | ユネスコより加盟申請手続の再開について、及び本市の提出済申請書の内部評価について通知                 |
|       | 10月   | 新たな加盟認定手順書の公開  |
| 平成26年 | 3月    | 新たな申請様式に基づく補正後申請書の提出                                       |
|       | 9月    | ネットワーク年次総会（中国・成都市）へ候補都市として市長が出席、食文化サミットにおいてプレゼンテーションを実施    |
|       | 12月1日 | ユネスコ創造都市ネットワーク加盟認定   |

## 6. 申請の内容

鶴岡市は山・平野・川・海といった変化に富む地形を有し、四季の変化を豊かに感じる自然環境に恵まれていることから、山・里・海の四季折々の食材が生まれ、年間を通じて多様な食文化を楽しむことができることを紹介しています。また食文化の背景となる精神文化として出羽三山の修験道や黒川能を取り上げ、これと密接に関わる食を紹介しています。

こうした「食の宝庫」である鶴岡市においては、農林水産業や酒造業など伝統産業に勤しんできた先人たちが地域特有の生活文化を築き上げてきており、現在も食材の生産者のほかシェフ・料理人など食文化に関わる人材が豊富であること、さらには山形大学農学部など、食と食文化に関わる高等教育・研究機関が集積しており、「生きた文化財」である在来作物の研究と活用に関わる活動も盛んであることを紹介しています。

そのほか学校給食の伝統を受け継いだ食育活動や、加盟後の国際的な活動の基礎となる国際交流の実績、また市内で年間を通じて食に関わる各種行事やまつりが開催されていることなどを紹介しており、こういった事実をもって、鶴岡市が世界の食文化創造都市としてふさわしい資質を備えた都市であることを説明しています。

その上で本市としては、在来作物など地域固有の食材を守り、伝統的な食文化の継承と多様な食材の利活用法の開発、また生産者・料理人等・研究者との連携を進め、地域固有の食文化の創造力強化を通じて食関連産業の振興を図ることとしています。さらに食文化によるツーリズムの構築を目指して、料理人や食品加工業者、観光事業者、食や生命に関わる先端的研究を展開する高等教育研究機関などの連携の機会を準備していくこととしています。

さらにネットワークへの加盟後は、地域文化の多様性の保全に配慮しつつ、それぞれの地

域が有する文化的、産業的ポテンシャルが今後も最大限に発揮されるよう、加盟諸都市と積極的に交流していきたい旨の意志表明をしています。

## 7. 今後の取組みについて

今後とも鶴岡食文化創造都市推進協議会を実施主体として、「食の理想郷へ」を将来像とし、産業・文化・生活・交流の各分野にわたる事業を積極的に展開します。

まず従来から行ってきた食文化創造都市推進事業への一層の取組みを進めます。さらに、このたび加盟したユネスコ創造都市ネットワークの加盟都市をはじめ、本市も運営に参画している「創造都市ネットワーク日本」の加盟都市など、国内外の創造都市や食文化都市との交流を通じて創造都市の推進に係る知見を共有し、都市間で互いに学び合い高め合う関係づくりを進めていくこととしています。

## 8. ユネスコ創造都市ネットワーク公式ウェブサイト

<http://www.unesco.org/new/en/culture/themes/creativity/creative-cities-network/>

## 9. 市長コメント

このたび本市は、日本で初めて食文化分野で、ユネスコ「創造都市ネットワーク」への加盟が認定されました。鶴岡の誇る食文化がユネスコによって世界的に認められましたことは、誠に喜ばしいものと考えております。

昨年は、同じユネスコにより「和食；日本人の伝統的な食文化」が無形文化遺産に認定されておりますが、今後、鶴岡市は世界の食文化都市として、このネットワークを通じた世界交流を進めますとともに、豊かな食材や伝統的な料理などを活かした地域づくりを進めてまいる所存です。

これまで本市の食文化を継承し発展させてくださった市民各位に大いなる敬意と感謝の意を表しますとともに、このたびの認定に当たり、ご尽力くださいました国内外の関係各位に御礼とより一層のご支援をお願い申し上げます。

問い合わせ先

鶴岡市企画部政策企画課食文化推進室

電話 0235-25-2111 内線 519